

旧小田切家住宅 ベンチ計画

信州大学大学院 修士1年

平尾 真也

讀山 彩代子

旧小田切家住宅

- 明治から昭和初期に製糸業で栄えた須坂市において、蚕糸、麴、呉服商などを営んでいた。
- 現存するほとんどの建物は明治時代に再建。須坂市指定有形文化財(平成25年)である。
- 昨年、喫茶スペースや様々なイベントを行える文化施設として始動。



旧小田切家住宅 【車寄せ】



出典：旧小田切家住宅調査報告書－旧小田切家住宅調査委員会による中間報告－、信伝研、2014.3.31

配置図(敷地図)



出典：<http://www.culture-sozaka.or.jp/otagiri/>

- 人力車を収めていた場所
- 木造平屋建て
- 梁間10尺×桁行2間2尺

ベンチの概要

コンセプト



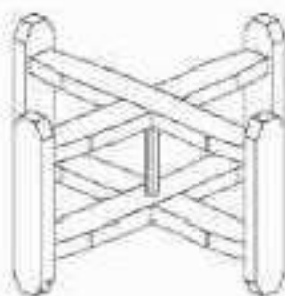
木杵

製糸業の発展に貢献
→ 紡いだ糸を巻き取る
「木杵」がモチーフ

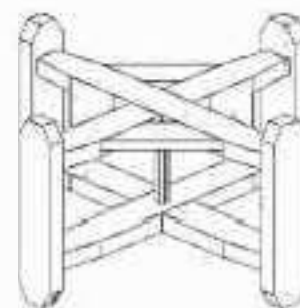
ダイアグラム



立てた状態の木枠



接合、構造面の強化



座面を足す

ダイアグラム



立てた状態の木枠

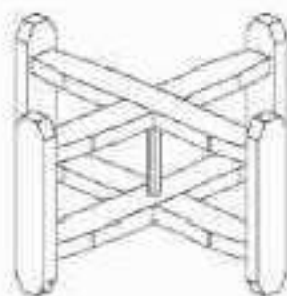


座面を足す

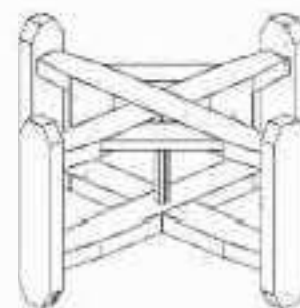
ダイアグラム



立てた状態の木枠



接合、構造面の強化

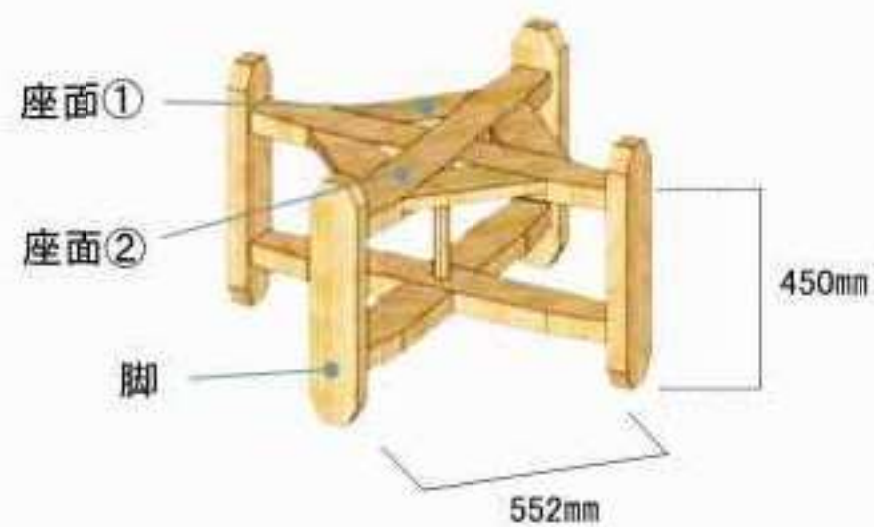


座面を足す

ダイアグラム



寸法



イメージ



